



50th Anniversary
Kanagawa Choral Association

Kenren No.61

kanon

神奈川県
合唱連盟
機関・情報誌

2008 年春号
発行: 2008.4.10

みんなで祝おう、みんなで歌おう！

神奈川県合唱連盟創立 50 周年記念演奏会 (第 31 回神奈川県合唱フェスティバル)

カノン担当 坪谷 麻貴

1958 年 2 月に創立された神奈川県合唱連盟が満 50 周年を迎えました。晴れやかな祝いの日にふさわしい好天に恵まれた 2 月 11 日 (月・祝)、神奈川県立音楽堂で記念演奏会が開催されました。

「合唱連盟は会員全員のもの。50 年間、連盟を育み、支えてきてくださった皆様と一緒に感謝し合い、喜び合うことのできる会にしたい。」という趣旨で、記念演奏会を企画しました。



練習風景

含めて全 14 回の練習でした。(ちなみに、14 回皆勤賞は、S. 5 名、A. 5 名、B. 3 名の計 13 名の方でした！残念ながら賞は出ませんが、ご熱心な姿勢に、感謝の拍手をお送りしたいと思います。) これまでの練習の成果もあり、オケ合わせはスムーズに進みました。田中理事長いわく、「やるべきことはやれました。50 周年をみんなで参加できて、歌を通して喜びを表現しあうことができれば…。あとは当日を迎えるのみ。」



演奏会前半は、モーツァルトの「戴冠ミサ」。メサイアでも毎年お世話になっている小泉ひろし先生指揮で、連盟有志による 50 周年記念合唱団と、本演奏会のために結成された 50 周年記念オーケストラによって演奏されました。後半は、連盟歌「朝の光に」を平井副理事長指揮で、続いて、唱歌メドレー「ふるさとの四季」を田中理事長指揮のオーケストラ伴奏で演奏しました。「みんなで祝おう・みんなで歌おう！」のテーマのとおり、ホール全体に会場の皆様の歌声が響き渡りました。

『前日リハーサル 10 日 (日)』

前日には雪が降り、天気心配されましたが、朝になれば晴天！「積もった雪で駐車場から車が出せなかった!!」という理事スタッフもいましたが、順調にスタートしました。朝から楽器の搬入、午後からオーケストラ練習、そしてソリスト、合唱団とのオーケストラ合わせが夜まで行われました。

50 周年記念合唱団は、昨年 9 月より練習を積んできた、連盟有志 150 名により構成されています。前日オケ合わせを



パーカッショニストと打ち合わせをする、田中理事長。「ふるさとの四季」では、様々な打楽器が使われます。

裏方でハブニングが！急遽、音楽堂に駆けつけ、お手伝いして下さった皆様。本当に有難うございました。



『記念演奏会当日 11日(月・祝)』

公開リハーサル

午前中、「戴冠ミサ」のゲネ・プロも無事終わるころ、音楽堂には続々とお客様が来られました。「ふるさとの四季」と連盟歌の公開リハーサルにご参加くださる方々です。会場全体で歌うにあたって、より良い演奏を創りあげていきたいと考え、オーケストラとのリハーサルにご参加くださるようお願いしたところ、約200名もの方がお集まりくださいました。「ふるさとの四季」はオーケストラアレンジのため、皆さんが知っているピアノ伴奏のものとは、間奏などが違う部分があります。田中理事長の説明を、皆さん、ご持参の楽譜にしっかりと書き込んで、リハーサルが始まりました。「すこし会場の声が遅れてるかな・・・」と思うと、すぐにズレに気が付いて、テンポを修正できる。お客様も、さすが合唱連盟会員！指揮の田中理事長は、『♪い～ら～か～の～な～み～と～』と、後ろから大変勇ましい声が聞こえた時、この演奏会の成功を確信した！とのことでした。



公開リハーサル

いよいよ開演

今回一番の心配は、「チケットが完売していて、当日券が出せるか!？」ということでした。2, 3日前で、客席数のチケットが完売し、それまでは当日券有りというインフォメーションをしていたのですが、厳しい状況になっていました。前日、県連のHPには、チケット完売の旨を載せたのですが、それだけでは周知できないし・・・。当日券があると思ってせっかく来てくださったお客様にも申し訳ないし・・・。

実行委員も頭を悩めた末、開演10分前の来場者数の状況で、立見席の当日券を出すかどうか判断することになりました。最終的に、立見ですが30人分の当日券を出すこととなり、長時間並んでくださったお客様皆さんに、入場していただきました。ご迷惑をおかけいたしまして、大変申し訳ございませんでした。嬉しい悲鳴ですが、売れすぎの悩み・・・なのですね。音楽堂は千人のお客様で満員となりました。

Missa in C Kv317 「戴冠ミサ」

モーツァルト 作曲

進行役の松村副理事長の挨拶で演奏会が開幕しました。前半は、50周年の記念式典風に、フォーマルな形での演奏会を、と考え、小泉先生の指揮による「戴冠ミサ」を演奏しました。



小泉先生とソリストの皆さん(左からS.市原愛さん、小泉先生、T.志摩大喜さん、B.杉山範雄さん、M.背戸裕子さん)

オーケストラは、小泉先生がこの会のために声をかけてくださった、才能ある若き演奏家の皆さんにより結成されました。また、4名のソリストは神奈川県ご出身の方々です。

150名の記念合唱団の皆さんも、半年の練習を重ねてきた成果を惜しみなく発揮してくださいました。やはり本番の緊張感の中での集中力はすごいですね！小泉先生のしなやかな指揮に、全てが一つになって壮麗な音楽が奏でられました。輝かしいグローリア、じーんと心にしみ入るクレド！ソリストの皆さんも、つややかで魅力的なソロやアンサンブルを聴かせてくださいました。

Dona nobis pacem (我らに平和を与えたまえ)の願いが、聴衆の心に届いたのでしょうか。素晴らしい演奏に、客席から



は惜しめない拍手をいただく事が出来ました。休憩時にはホワイエでドリンクサービスがふるまわれました。ご提供くださいました、コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社様、どうも有り難うございました。

トークコーナー

休憩後、田中理事長の挨拶で「50周年を迎えられた事を皆さんで祝いましょう!」という言葉に、会場の皆さんが、隣同士で手を取り合って「おめでとう!」と喜び合うという、とても温かい雰囲気、印象的なワンシーンがありました。

続いて、これまで長い間、合唱連盟を支えてくださった元理事長で顧問の、吉田孝古磨先生、伊集院俊光先生、そして田中理事長による、トークコーナーが設けられました。吉田先生は、全国に先駆けて、ジュニア部を立ち上げ、長年一番力を入れてこられたこと等をお話ししてくださいました。また、伊集院先生からは、高橋賢次元事務局長に励まされて理事長に就任し、神奈川独自の方式でのアンサンブルコンテストをスタートさせたお話等を伺いました。

後半の演奏の前に、神奈川県合唱連盟をこれまで温かく包み、育ててくださった神奈川県立音楽堂様に、県連より感謝状を贈らせていただきました。



左から松村先生、田中先生、伊集院先生、吉田先生

創立 50 周年委嘱作品 連盟歌 「朝の光に」

田中 実 作詩 信長 貴富 作曲

50 周年記念事業の一環として作られた連盟歌「朝の光に」は、合唱祭やコンクールなど各イベントで演奏されてきました。今回は平井副理事長の指揮、織田祥代さんのピアノで、記念合唱団とご来場の皆さんと一緒に歌いました。歌う喜びが満ち溢れる感覚を、みんなで分かち合えた瞬間でした。私たちの大好きな歌！これからも様々な場で、皆さんとこの曲を歌い継いでいきたいです。

混声合唱のための唱歌メドレー

「ふるさとの四季」 源田俊一郎 編曲

演奏会の後半は、皆さんで楽しく歌って、楽しく祝いいたい！という思いから、たくさんの方に歌っていただけるよう、この曲を選曲しました。

田中理事長の指揮で、まず織田さんのピアノでオーケストラ版の伴奏をして頂き、皆さんの楽譜と違う部分を取り出して歌ってみました。一通り確認してから、さあ！本番です！

懐かしく、豊かな自然に包まれるようなオーケストラの前奏にうっとりしながら、「故郷」が始まりました。午前中のリハーサルに参加してくださった方々が、客席を引っ張って

くれているようでした。

オーケストラを囲むようにして、記念合唱団と客席の皆さんの合唱団が一つになりました。この日が初めての合同合唱とは思えないくらい、素晴らしいハーモニーが響き渡りました。筆者は、ピアノの譜めくりをしていたのですが、会場中の響きが混ざり合うのを、ステージの上で直接感じることができ、熱いものが込み上げてきました。



反響が大きく「またやってほしい！」という声も

演奏後、記念合唱団の若手メンバーは、「今まで練習してきたのに、会場と一緒に歌うとどうなるのだろう？と不安だったが、歌っているうちにどンドン、皆と歌い合える喜びが湧いてきて楽しかった」とおっしゃっていました。

アンコールの拍手に応え、小泉先生に再び指揮して頂き、モーツァルトの「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を演奏しました。アンコールですが、あらかじめプログラムには楽譜が！会場一体となりフィナーレを飾りました。鳴り止まないスタンディングオベーションに包まれ、感動的な演奏会となりました。

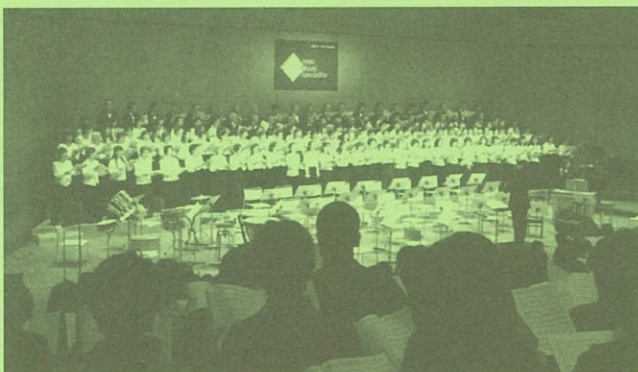
演奏会后、小泉先生からメッセージを頂きました。

「客席と一体となって、ふるさとの四季では涙をおさえている人もいたそうです。合唱もすごく良かったし、オケも頑張ってくれて、ただ単に楽しい記念演奏会というだけでなく、格調高いコンサートだったように思います。」

オーケストラのコンサートミストラーの永澤若菜さんは、「会場全体で音楽を創りあげるといふ、滅多にない体験ができました。小さい子からお年寄りまで一緒に歌い、音楽で通い合うことができる事は、素晴らしいと思います。」と。



永澤さんと小泉先生



織田祥代さん

平井副理事長



藤原実行委員長（左）と田中事務局長

後期合唱講習会(中高生のための合唱講習会)開催報告 文責：金子佳弘

□日時 2008年1月27日(日)13:30~16:30

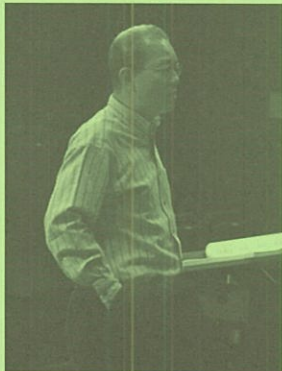
□会場 あーすぷらざ

毎年、合唱界の第一線で活躍されている指揮者を講師に招いて行われる後期合唱講習会ですが、本年度は、10余の合唱団の常任指揮者で、東京都合唱連盟副理事長を務める金川明裕先生を講師に迎え、盛大に行われました。金川先生は全日本合唱コンクール課題曲集「合唱名曲シリーズ」の編集にも携っていますから、コンクール出場団体にはお馴染みのものと思います。



講習参加者

さて、今回の講習会では開会挨拶の後、受講者全員を「あーすぷらざ」の舞台上に乗せ、全体発声から開始されました。実際に先生が体を使いながら歌う時の体の開き方と正しい姿勢、呼吸法の基本、声の響かせ方、フレージングの作り方などを丁寧に指導していただきました。特に、「お早うございます」という日本語と同じ意味を持つ他の言語、英語の Good morning とドイツ語の Guten morgen を取り上げ、受講者にも実際に発語させ、日本語作品と外国語作品を歌う時のイントネーションの違いについて説明されました。日本語そのものは抑揚がないため、おかしなイントネーションで発語するケースが目立ち、ある1つの言葉を強調する場合などでは語尾が強くなりがちですが、英語、ドイツ語などではあり得ないことです。こういう基礎部分も注意していないと簡単に直るものではありませんので、学校現場等で外国の作品を指導する場合は留意したいものです。



金川先生

今回の講習で練習した曲は、ヘンデルのオラトリオ「メサイア」から、有名な‘Hallelujah!’と

‘For unto us a child is born(一人の嬰兒が私たちのためにお生まれになる)’の2曲でした。

私(金子)が、金川先生に講習曲の選定について問い合わせたところ、すぐに上記2曲という返事が返ってきました。通常、曲の選定には何回もメールやFAXでのやりとりがあるのですが、私も何の迷いもなく、是非やりましょうと即答し、今回の形になりました。

‘Hallelujah!’を歌わないまま合唱を終える人はまずいまいでしょうが、メサイアの全曲演奏を経験しないと、‘For unto ~’を歌う機会がないのではと考えられます。このようなわけで、練習は‘For unto ~’に重点が置かれました。

曲も素晴らしいですが、詩の内容も現代社会に通じるメッセージが多く盛り込まれています。当時のユダヤ人が何千年も待ち焦がれた「ひとりの嬰兒(キリスト)」が誕生する

場面ですから。詩の中の1つ1つの言葉を深く掘り下げ、情熱的に指導されたことは言うまでもありません。なお、この作品はヘンデルを始め、多くのバロック作品では声楽部分にも16部音符による細かい動き(メリスマ)があり、合唱人が苦勞するところですが、その歌唱技術も伝授していただき、参考になりました。

やはり、すぐれた指導者のもとで歌う名曲は格別なものです。あっという間に3時間が過ぎ、受講生に心地良い疲労感が残り、有意義な一日となりました。今回、メサイアを取り上げるにあたり、役員はともかく、中高校生が作品に馴染んでいない点を考慮し、私の所属団体である「晋友会」にこの会の主旨を文書でお願いし、賛同していただいたメンバー10数名に練習のサポートをお願いしました。中高校生と一般団体が理想的な形でコラボレーションできたこととなります。また、ピアノには私が信頼するピアニストの山崎今日子さんに快く受けていただきました。その他にも多くの同志の支えがあってこの講習会が成り立っています。改めて皆様のご好意に感謝する次第です。



実行委員の皆さん

第10回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

3月16日(日)、やわらかい春の陽射しの中、県立音楽堂で「第10回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト(以下、KVEC)」が開催されました。第10回大会を記念した企画を、と考へ、今回は部門別審査の演奏時間を今までより1分増やし、7分以内としました。また、新たな試みとしてフェスティバル部門を設けました。その効果があつてか、今年度は県内外から48団体もの皆さんにご参加いただくことが出来ました。ありがとうございました。

KVECは伊集院理事長時代に始まった当時から、一次、二次審査(現・部門別、総合審査)からなる「神奈川方式」で行ってきました。審査は審査員の絶対評価で、発声、アンサンブル等、4つの項目別に評価されます。評価を点数化し、3人の先生方の平均点で金・銀・銅の賞が決まるという方法です。

女声・ジュニア・男声・混声の各部門で、ルネッサンスから現代までの様々なア・カペラが繰り広げられました。今回は大変残念なことに、各部門を通して金賞団体なしという結果でした。どの団体も、皆さん健闘してくださったのですが、絶対評価の平均点ということで、入賞にはハイレベルな演奏が求められます。「神奈川方式」ゆえの厳しさ、ということなのかもしれませんが、この方法がKVECならではの特徵としてこだわっていききたいものでもあるので、主催者側としては複雑な気持ちです。

フェスティバル部門では、3団体の皆さんがそれぞれの持ち味をいかした演奏を披露してくださり、観客の皆さんに投票していただきました。部門別・総合ではなく、もう少し気軽な気持ちでも参加できるのでは、と設けたフェスティバル部門ですが、いかがでしたでしょうか?昨年、今年とシニアの部の参加がありませんでしたが、いろいろな方々楽しく演奏していただける部門として、今後も開催できればと考えています。

審査員の本山秀毅先生の講評で、「少人数のアンサンブルには、一人ひとりの存在感が必要。個々の音楽的な特徴をお互いに理解し合うことが大切です。」というお話がありました。さらに磨きをかけられ、来年もまた素晴らしい演奏を聴かせていただけることを楽しみにしています。

合唱連盟50年の歴史の中では、まだまだ幼いKVECですが、ア・カペラの魅力を存分に楽しめる会となるよう、これからも更なる工夫や改善をしていきたいと思っています。

審査結果(演奏順)

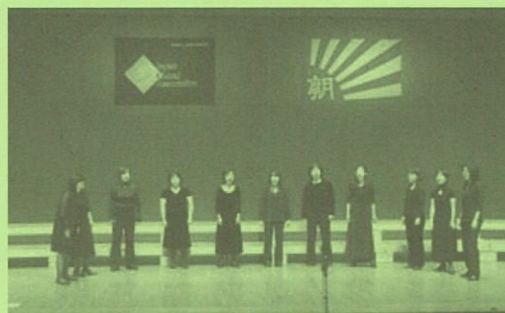
コンテスト部門

- 【女声の部】 銀賞：Allure
銅賞：アンサンブル藤沢、Trinity、アンサンブルMora、湘南コーロ・ステラ
- 【ジュニアの部】 銀賞：清泉女学院中学音楽部
銅賞：小田原少年少女合唱隊、金沢少年少女合唱団
- 【男声の部】 銀賞：イエーノーリヤ・ラウラヤット、マルベリー・メールクワイア
銅賞：ヴォーカルアンサンブル未生(Myuu)、合唱団お江戸コラリアーザ
- 【混声の部】 銅賞：le cacca、合唱団 ゆうゆう、N.A.V.E.

- 【総合審査結果】 総合1位：Allure、マルベリー・メールクワイア
総合3位：清泉女学院中学音楽部
審査員特別賞：イエーノーリヤ・ラウラヤット

フェスティバル部門

オーディエンス賞：神奈川県立秦野南が丘高等学校合唱部



Allure



マルベリー・メールクワイア



清泉女学院中学音楽部



表彰式の様子

G線上のアリア



「知っている人は何でもないが、
知らない人にはトリビアの泉」

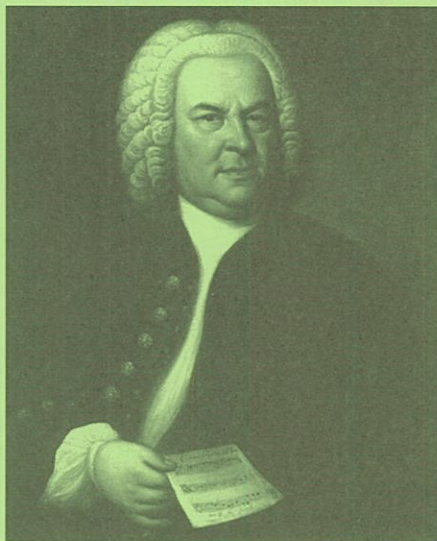
川崎混声合唱団 田中 実

テレビから流れてくる千住真理子さんのヴァイオリン「G線上のアリア」にうっとりしていた時、突然気が付いた。「これはハ長調だ」。私、今まで何の考えもなしに「G線上のアリア」はG線でト長調だと思っていた。今聴いているのは間違いなくハ長調（私、どういうわけか親愛なるハ長調に強い。ちなみに連盟事務所のある横浜朝日会館のエレベーターのピンポンがハ長調のミドだ）。この事を友人に聞いてみた。返事は「管弦楽組曲第3番ニ長調第2楽章エアだからニ長調よ」の返事。この時から2週間、幾つか疑問が湧いてきて悩みが続くことになった。

まず一つ目。ヴァイオリンの調弦について知らなかったので調べると低い方から「ソレラミ」。ニ長調ならこの曲の一番低い音は4弦の固定ドの「ラ」になりそうだ。何故、開放弦の「ソ」の音を使わないのか。開放弦ではヴィブラートが使えないので一番低い音を「ラ」にしたのか。それならば、開放弦を弾いたときにヴィブラートをつける方法は何ないのか。例えば、3弦で「ソ」音を抑えてヴィブラートをしながらか4弦の開放弦を弾いたならヴィブラートが起きそうだ。きっと誰か考えているに違いない。

二つ目。オーケストラではニ長調が響きやすいと云う事を聞いたことがある。しかし、私が聴いた「G線上のアリア」はヴァイオリンとピアノだけ。他の楽器は関係ない。

三つ目。試しに他の楽器で演奏されている「G線上のアリア」を聴いてみた。正確には分らないが、ニ長調ではない曲がありそうだ。



しかし、私が聴いたヴァイオリンは「ハ長調」。解決しないまま、最後はインターネットのお世話に。いろいろ調べていくうちに、フリー百科事典「ウィキペディア」にたどり着いた。

バッハが作曲した百年ほどの後、19世紀後半アウグスト・ウィルヘルミがニ長調をハ長調に移調させると、ヴァイオリンのG線だけで演奏が出来ることに気づき、ヴァイオリン独奏用にそのような編曲を施したことにさかのぼる。その事から、「G線上のアリア」と呼ばれるようになり、組曲中の他の楽章から切り離されて演奏されるようになると、原調のニ長調で演奏しているにもかかわらず、単独の小品として「G線上のアリア」とする通称が定着した。との記述があった。

「なるほど、そうだったのか」最近では珍しく楽しい悩みが続いた2週間だった。開放弦のヴィブラートの演奏方法をご存知の方、お知らせください。

これからの事業予定 6月までに開催される事業の予定です。詳細は県連事務局にお問い合わせください。

第31回 全日本おかあさんコーラス関東支部神奈川県大会	2008年度 NHK 全国学校音楽コンクール課題曲講習会	第51回神奈川県合唱祭
開催日時 2008年4月26日(日) 会場 県立音楽堂(木のホール) 入場料 無料 審査員 河合孝夫 鈴木静枝 瀬川詠子 田尻明規 野本立人	開催日時 2008年4月29日 (火・祝) 会場 あーすぷらざ(県立地球市民かながわプラザ) 入場料 1名につき500円 審査員 桑原妙子 古橋富士雄	開催日時 2008年 6月14日(土) 6月15日(日) 6月28日(土) 6月29日(日) 会場 県立音楽堂(木のホール) 入場料 無料 審査員 朝倉蒼生 片野秀俊 岸信介 桑原妙子 中村義春 中村義朗 新実徳英 松浦ゆかり

神奈川県合唱連盟加盟団体

コンサートガイド



☆3月10日までに事務所へ
お届けのあった分につい
て掲載しました。

☆次回切は6月10日。
発行は2008年7月10日
の予定です。

2008年4～

4 月	27日 (日) 開演 14:00	<p>横浜ルミナス・コール 第7回定期演奏会</p> <p>◇「イギリス世俗曲集」より</p> <p>◇モーツァルト モテット選集</p> <p>◇混声合唱組曲「まぼろしの薔薇」 大手拓次作詞／西村朗作曲</p> <p>◇オリジナルステージ<FM ルミナス湘南サテライト></p> <p>指揮：小久保大輔 杉村俊哉 青木聡</p> <p>ピアノ：名取かほり 佐々木 順子 清水 新</p> <p>会場：鎌倉芸術館小ホール 入場料：1,000円</p> <p>お問い合わせ：下江 045-761-3744 luminous@jn5.so-net.ne.jp</p> <p>ホームページ http://www1.odn.ne.jp/luminous/</p>
5 月	16日 (金) 開演 19:00	<p>～20周年記念～第7回ヴォーチェ・ムジカーレコンサート</p> <p>◇女声合唱のための「すすきとお日さま」 金子みすゞ作詩／山内雅弘作曲</p> <p>◇女声(児童)のための合唱組曲「キュージーン」 伊藤千鶴作詩／吉岡弘行作曲</p> <p>◇20年のレパートリー集</p> <p>「時は流れても」「麦藁帽子」「ラールゴ」「南海譜」他</p> <p>指揮：松村努</p> <p>ピアノ：青山由貴子</p> <p>会場：港南区民文化センター「ひまわりの郷」 入場無料</p> <p>お問い合わせ：岡崎 046-865-6333</p> <p>ホームページ http://www.voce-musicale.com/</p>
	17日 (土) 開演 14:00	<p>湘南コール・グリーン 第58回定期演奏会</p> <p>◇「MASS No. 6」 GYÖRGY ORBÁN 作曲</p> <p>◇女声合唱組曲「風の詩集」 伊藤千鶴作詩／吉岡弘行作曲 他</p> <p>◇女声合唱と箏のための 秋来ぬと 「梁塵秘抄」より 柴田南雄作曲</p> <p>◇「珠玉のシャンソン・コーラス」より 松山祐士編曲</p> <p>指揮：榊原 哲</p> <p>ピアノ：鈴木永子 箏：栗原洋子</p> <p>会場：藤沢市民会館大ホール 入場料：1,000円</p> <p>お問い合わせ：鈴木 045-892-9371</p> <p>ホームページ http://music.geocities.jp/gryun57mn/</p>
	17日 (土) 開演 17:00	<p>混声合唱団すおな一れ すおな一れファーストコンサート</p> <p>◇西欧合唱音楽の流れ 「主よ人の望みの喜びよ」 J.S. バッハ作曲 他</p> <p>◇大中恩合唱曲 「わたりどり」「秋の女よ」 他</p> <p>◇林光編曲混声合唱曲 「待ちぼうけ」「死んだ男の残したものは」 他</p> <p>指揮：内山哲</p> <p>ピアノ：浅沼敦子</p> <p>会場：海老名市文化会館小ホール 入場料：800円</p> <p>お問い合わせ：須藤 046-252-0820</p> <p>suonare_concert-2008@yahoo.co.jp www7b.biglobe.ne.jp/~suonare/index.htm</p>

<p>23日 (金) 開演 18:30</p>	<p>コール・コサージュ 10周年記念コンサート ◇叙情小曲集「月の角笛」より 木下牧子作曲 ◇女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」 源田俊一郎編曲 ◇「風のとおりみち」より 三善晃作曲 ◇「愛する歌」より やなせたかし作詞／木下牧子作曲 ◇「キュージーヌ」より 伊藤千鶴作詩／吉岡弘行作曲 ◇美空ひばり作品集 信長貴富編曲 指揮：星野敦子 ピアノ：石川桃子 会場：大和市保健福祉センターホール 入場無料 お問い合わせ：中島千鶴 046-264-9939 江波戸博子 046-263-1670</p>
<p>25日 (日) 開演 14:00</p>	<p>女声合唱アガパンサス アガパンサスコンサートV～五月の風にのせて～ ◇源田俊一郎編曲による 「花」「浜辺の歌」「椰子の実」 ◇女声合唱曲集「落葉松」 小林秀雄作曲 ◇女声合唱のための「黙示録の猫」 村上博子作詞／深町純作曲 ◇ミュージカル「美女と野獣」より 「美女と野獣」「キャッツ」より 「メモリー」 「ウェストサイド・ストーリー」より 「トゥナイト」 指揮：岡田有弘 ピアノ：加来洋子 会場：県立音楽堂 入場料：1,000円 問い合わせ：高島玲子 045-881-7478 http://homepage3.nifty.com/agapansasu/</p>
<p>25日 (日) 開演 14:00</p>	<p>混声合唱団 相模台グリーンエコー 第21回定期演奏会 ◇ビクトリアのモテットを集めて 「アヴェ・マリア」「永遠の奇蹟よ」他 ◇混声合唱組曲「ティオの夜の旅」 池澤夏樹作詩／木下牧子作曲 ◇ビートルズ・ソングス・コレクション 「レディ・マドンナ」「イエスタデー」他 ◇現代のモテットを集めて 「まことのお体」「主に向かって歌え」他 指揮：山本龍紀 大沢利郎 ピアノ：宇野伸子 会場：杜のホールはしもと 入場料：700円(全席自由) お問い合わせ：大澤 042-753-9743 HP：http://g-echo.cool.ne.jp/g_echo/ メール：biscuitie@mail.goo.ne.jp</p>
<p>31日 (土) 開演 14:30</p>	<p>緑フラウエンコール 第6回コンサート ◇女声合唱のための12のシャンソン「日々のあぶく」より 津田まさごろ作詞／松下耕作曲 ◇女声合唱のための「聖母への祈り」より 松下耕作曲 ◇女声合唱とピアノのための「愛の詩集」より 松下耕作曲 ◇色をつむぐ歌メドレー 「赤いサラファン」「雪の日に」「グリーンスリーブス」他 指揮：松村努 ピアノ：安藤江浪 ゲスト：Die Grüne Krawatten(男声コーラス) 会場：フィリアホール 入場料：1,000円(全席自由) お問い合わせ：外崎 045-982-9367</p>

6 月	14日 (土) 開演 15:30	<p>藤沢男声合唱団 第19回定期演奏会</p> <p>◇メンデルスゾーン 作品121</p> <p>◇ミュージカル南太平洋より 「魅惑の宵」他</p> <p>◇男声合唱曲「沙羅」</p> <p>指揮：畑中良輔 吉川貴洋 佐藤正浩</p> <p>ピアノ：久邇之宜 黒澤美雪</p> <p>チェロ：藤村俊介 コントラバス：今野京</p> <p>演出：彌勒忠史</p> <p>会場：藤沢市民会館大ホール 入場料：1,000円</p> <p>お問い合わせ：中村眞治 090-4385-3708</p>
	15日 (日) 開演 14:00	<p>やまゆりコーラス定期演奏会</p> <p>◇女声合唱とピアノのための「この世でいちばんやさしい歌」より 新川和江作詩／大田桜子作曲</p> <p>◇宗教合唱曲集 コチャール・ミクローシュ作曲</p> <p>◇「サウンド・オブ・ミュージック」より R. ロジャース作曲</p> <p>指揮：野村慎一郎</p> <p>ピアノ：村上美雪</p> <p>会場：泉公会堂 入場料：800円</p> <p>お問い合わせ：黒羽康子 045-852-4402</p>
	15日 (日) 開演 14:30	<p>女声合唱団サーズデイ・チャター The 5th Concert</p> <p>◇女声合唱とピアノのための「五つのシャンソン」 山本環子作詩／新実徳英作曲</p> <p>◇同声三部合唱とピアノのための組曲「永訣の朝」 宮澤賢治作詩／西村朗作曲</p> <p>◇ポップス オン コーラス</p> <p>「見上げてごらん夜の星を」「少年時代」「涙そうそう」他</p> <p>◇「Missa Sponsa Christi」 Hendrik Andriessen 作曲</p> <p>指揮：清田泰昭</p> <p>ピアノ・オルガン：鎌田淳子</p> <p>会場：横須賀市はまゆう会館ホール 入場料：1,000円</p> <p>お問い合わせ：松田 046-843-5944 内山 046-841-2526</p>
	21日 (土) 開演 15:00	<p>湘南市民コール 第53回定期演奏会 “金沢カペラ合唱団を迎えて”</p> <p>◇「Mass From Two Worlds」 Ariel Quintana 作曲</p> <p>◇混声合唱組曲「木とともに 人とともに」 谷川俊太郎作詞／三善晃作曲</p> <p>◇混声合唱のための幻想編曲集「日本の歌」 野平一郎作曲</p> <p>◇無伴奏混声合唱のための「死者の贈り物」 長田弘作詞／新実徳英作曲</p> <p>指揮：清水敬一(湘南市民コール) 山瀬泰吾(金沢カペラ)</p> <p>ピアノ：浅井道子 鈴木敬 エレクトーン：大竹久美</p> <p>会場：藤沢市民会館大ホール 入場料：一般1,500円(高校生以下800円)</p> <p>お問い合わせ：門井(カドイ) 045-821-8597 E-mail: kadoi2959@yahoo.co.jp</p>
	27日 (金) 開演 19:00	<p>女声合唱団M 第6回演奏会</p> <p>◇女声合唱曲集「わたしは風」 新川和江作詩／木下牧子作曲</p> <p>◇女声合唱のための山田耕筰作品集「からたちの花」より 増田順平編曲</p> <p>◇「あんねんボルカ」 J. シュトラウス作曲／きたひろし作詞／服部公一編曲</p> <p>「Ave Maria」特集 マスカーニ作曲 他</p> <p>指揮：桜井真知子</p> <p>ピアノ：木原桃子</p> <p>会場：フィリアホール 入場料：1,000円</p> <p>お問い合わせ：真船悦子 045-922-2336</p>

	27日 (金) 開演 19:00	<p>しほみコール 第16回定期演奏会</p> <p>◇ミサ(コルトリーク合唱団のための小ミサ曲) D. クープス作曲 ◇名曲集「アヴェ マリア」「菩提樹」 F. シューベルト作曲 他 ◇女声合唱とピアノのために「がちょうおばさんの音楽帳」 マザー・グース詩/寺嶋陸也作曲</p> <p>◇女声合唱組曲「おかあさんのばか」 古田幸作詩/中田喜直・磯部倅作曲 ◇女声合唱による美空ひばり作品集 信長貴富編曲</p> <p>指揮: 桑原妙子 ピアノ: 中根希子 ソプラノ: 鹿郷寿美 ナレーション: 楠田正宏 会場: 二宮町生涯学習センター ラディアン 入場料: 1,000円 お問い合わせ: 宮坂 0465-48-2467 大久保 0463-71-8873</p>
7月	5日 (土) 開演 14:00	<p>コール・プルメリア The 3rd Concert</p> <p>◇創作オペラ「道行」 川島早智子脚本/加藤由美子作曲 指揮: 小林祥子 ピアノ: 後藤美穂 演出: 境信博 会場: 杜のホールはしもと 入場料: 1,000円(全席自由) お問い合わせ: 大久保 042-759-2214</p>
	5日 (土) 開演 15:00	<p>鎌倉市民混声合唱団 第23回定期演奏会</p> <p>◇「幼年連禱」 吉原幸子作詩/新実徳英作曲 ◇グレゴリオ聖歌の主題による「4つのモテット」 M. デュリフレ作曲 ◇ボブ・チルコット編曲作品より 「ダニーボーイ」「スカイボートソング」他 指揮: 川合良一 ピアノ: 飛松桃子 会場: 鎌倉芸術館大ホール 入場料: 1,000円(全席自由) お問い合わせ: 角田 0467-32-3627</p>
	12日 (土) 開演 17:00	<p>横浜ローゼンコール 第34回定期演奏会</p> <p>◇混声合唱とピアノのための「花に寄せて」 星野富弘作詩/新実徳英作曲 ◇混声合唱とピアノのための「この星の上で」 谷川俊太郎作詩/松下耕作曲 ◇混声合唱のための3つのエチュード「お伽草子」より 千原英喜作曲 ◇混声合唱のための「レクイエム」人麻呂と古代歌謡、ミサ典礼文による 千原英喜作曲</p> <p>指揮: 中村皇 ピアノ: 廣田千春 会場: 大田区民プラザ大ホール(下丸子駅前) 入場料: 1,500円 お問合せ先: 櫻井 045-893-9996 HP: http://rosenchor.hp.infoseek.co.jp/</p>
	22日 (火) 開演 14:00	<p>左近山エコー 創立40周年記念演奏会</p> <p>◇「真赤な太陽」 吉岡治作詞/原信夫作曲 他 ◇山田耕筰作品集 「あわて床屋」「のぼら」他 ◇「はたおりむし」より 谷川雁作詞/新実徳英作曲 ◇「Messe in Es op. 155」 J.G. ラインベルガー作曲</p> <p>指揮: 東嶋正彦 ピアノ: 古瀬安子 ソリスト: 東嶋裕子 会場: 県立音楽堂 入場無料 お問い合わせ: 谷津 045-362-0593</p>

※カノンNo.60のコンサートガイドで、川崎混声合唱団、横浜ルミナス・コールの掲載内容に誤りがございました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

全日本合唱コンクール課題曲申し込みおよび販売のお知らせ

本年度合唱コンクール課題曲集（合唱名曲シリーズ No.37）の申し込みを受け付けます。30冊以上申し込まれると版元より直接配送され、送料も無料になります。3月中旬より県連事務所でも販売しております。（定価 1,000円）

「名曲シリーズNo.37（平成20年度全日本合唱コンクール課題曲集）」

価格 定価：1,000円（消費税込み） 発行日 平成20年3月10日

【曲目一覧】

- | | | | |
|---------------------------------|----|------------------------------------|-------------------------------------|
| 混声 | G1 | Cibavit eos | William Byrd 曲 |
| 混声 | G2 | Salve regina | Franz Schubert 曲 |
| 混声 | G3 | 全身（「心の汽車」から）..... | 寺山修司 詩・寺嶋陸也 曲 |
| 混声 | G4 | 家居に（「鎮魂の賦」から）..... | 林 望 詩・上田真樹 曲 |
| （平成19年度合唱組曲作品公募入選作品《第18回朝日作曲賞》） | | | |
| 男声 | M1 | Tenebrae factae sunt | Tomas Luis de Victoria 曲 |
| 男声 | M2 | Waldmorgen | Joseph Rheinberger 曲 |
| 男声 | M3 | かめの祈り（「動物たちのコラール第4集」より）..... | カルメン・ベルノス・デ・ガストルド 詩・宮澤邦子 訳・萩原英彦 曲 |
| 男声 | M4 | 枯れたオレンジの木のシャンソン（「五つのシャンソン」から）..... | ガルシア・ロルカ 詩・長谷川四郎 訳・池辺晋一郎 曲 |
| 女声 | F1 | Kyrie（「Missa “Ave Maria”」から）..... | Cristobal de Morales 曲 |
| 女声 | F2 | Der Wassermann（「Romanzen」から）..... | Justinus Kerner 詩・Robert Schumann 曲 |
| 女声 | F3 | 巨船（「海は見てきた」から）..... | 安浪雄嗣 詩・平吉毅州 曲 |
| 女声 | F4 | 色白女童（「道之島唄」から）..... | 福島雄次郎 曲 |
- （G4、M4、F2、F3はピアノ伴奏。他の曲は無伴奏）

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを無料で掲載することが出来ます。是非ご利用ください。掲載希望の方は下記の項目を記したものを郵送かFAX、またはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。（送り先は巻末に記載）

- 掲載項目：1. 開催日時 2. 合唱団名（会員番号も列記してください） 3. 演奏会名称
4. ステージ・曲目（作詩・作曲者名も記してください。紙面の都合で全てを載せられないことがあります）
5. 出演者（指揮者・伴奏者など）
6. 会場 7. 入場料金等 8. 問い合わせ連絡先

※カノン発行月と原稿締め切りの予定（原稿締め切り日が変更になりました。ご注意ください）

夏号 7月10日発行予定（〆切：6月10日） 秋号 10月10日発行予定（〆切：9月10日）

冬号 1月10日発行予定（〆切：12月10日） 春号 4月10日発行予定（〆切：3月10日）

編集後記

春爛漫！お花見に、ドライブに、スポーツに…ついつい鼻歌を口ずさんでしまいます。

(Y. M)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon (カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 田中登志生

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館4階

045-681-6033 (TEL) 045-662-5119 (FAX)

ホームページURL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

